

題材名 教材教具名	タッチパネル 『ターゲットをタッチせよ』	TVクイズ 『何の写真でしょうか？』
教科・領域	自立活動	
考案者・製作者	藤井 轄行	
必要な物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントファイル</li> <li>・タブレットPC</li> </ul>	
保管場所	教材用タブレットPC デスクトップ(小4組教室)	
内容・使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画面上から写真や指定された色を見つける</li> <li>・指でそっとタッチする</li> <li>・正しくタッチできれば写真の人の声や、物の名前の音声、または効果音が出る</li> <li>・写真等の部分でないところをタッチすると次のスライドにうつる</li> </ul> <p>(例)</p> <p>目印を正しくタッチできると…</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリック(スイッチに入力)するごとに、写真を隠している障害物やフィルターなどが消えていく</li> <li>・一問につき、5回クリックすると正解写真になる(例)</li> </ul>
備考 (教材・教具の工夫点や配慮点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚優位の子が、楽しく簡単に、見ることや目と手の協応動作、ことばの学習ができるように制作。対象の子どもの特性に応じて、ターゲットの内容や大きさ、量等が簡単に変更できる。</li> </ul> <p>【作成したファイル】 (ファイル名:メニュー) メニュー写真を押すとメニュー名が聞ける</p> <p>(ファイル名:やさい) 野菜を押すと、その野菜名が聞ける</p> <p>(ファイル名:赤) 赤い四角を押すと効果音が聞ける</p> <p>(ファイル名:せんせい) 教師の顔写真を押すと、その教師の声で自己紹介が聞ける</p> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難易度や問題数の調整等が簡単にできる。</li> <li>・小集団での一斉指導で使用する場合は、ノート型PCをTVモニターにつないで行うが、マウスをスイッチに接続しておけば、スイッチを押すだけで画面が変わっていくので余計な刺激を減らしながら活用できる。また子どもの顔を見ながら課題を進めることができる。場合によっては、子どもにスイッチを押させることで、進行役を依頼することも可能。</li> <li>・比較的簡単で、視覚を使った課題であるため、興味を引いたり集中を高めたりしやすい。そのため、「着席して授業を受ける」、「手を挙げて、当てられたら答えを言う」「座る」、「拍手をする」など、集団でのルールを学ぶ教材として活用しやすい。</li> <li>・子どもに応じて、「視覚を使った教材がどの程度有効か」、「どこを(何を)見て、物を判断しているか」、「言葉(語い)の習得状況はどうか」、「解答までの手続きをどの程度理解しているか」などの情報を得ることが可能。</li> </ul>